

人生の節目で経験する面接に備えて

新年のスタートとともに部屋に飾った真新しいカレンダーが、早くも新しい写真に変わりました。

「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」のことば通り、あっという間に1月が終わり、2月を迎えたという思いです。今月は県内私立高校入試、公立高校推薦入試・特色選抜と、多くの3年生がいよいよ受験を迎えます。焦ることなく、やるべきことを最後まで地道に積み上げ、平常心で本番に臨んでください。

1・2年生も「まだまだ先のこと・・・」ではなく、3年生の姿を見て将来の自分のあり方を自分なりに描き、具体的な進路の目標を掲げ、それに向かって日々努力を重ねていきましょう。

さて、3年生は私立入試、推薦入試に向けて先月から面接の練習を重ねてきました。人生の節目となる受験や就職などで、皆さんはこれから何度も面接を受ける機会があると思います。面接を受けるにあたって、普段から心掛けておいてもらいたいことを二つ述べたいと思います。

一つ目は、「**TPO**」に応じた立振る舞いを心掛けておく ということです。

「TPO」というのは、Time（時間）、Place（場所）、Occasion（場合）の頭文字をとって、「時と場所、場合に応じた方法・態度・服装」を意味する和製英語です。面接の基本となる服装やあいさつ、言葉遣いなどは、「TPO」を意識して普段の生活を送っていれば、おのずと身に付いていくものです。例えば、職員室に出入りする際には、服装を整え大きな声であいさつ・礼をし、先生とは敬語を使って会話するということです。敬語にも尊敬語や謙譲語、丁寧語などがあって、大人でも戸惑うことや間違えることもあります。意識して会話することで、正しい使い方が少しずつ身に付いていきます。

二つ目は、**自分の考えをしっかりと持ち、それを表現したり、人に伝えることを心掛ける** ことです。

面接は、自分の良さや考えをアピールし、相手に自分を売り込む場です。元来、日本人は外国人に比べると自己主張が苦手で、恥ずかしがり屋の人が多いと言われていきます。国際交流の伸展や社会のグローバル化が進む中で、これからの日本を支えていく皆さんにはこれまで以上に、自分の考えを相手に伝え、相手を納得させる力が求められます。このことを念頭に置いて、普段の学校での授業や生活を通して、思考力や判断力、表現力をしっかりと身に付けていってほしいと思います。

本日3日は節分、4日は立春で、暦のうえでは早くも春を迎えます。暖冬と言われる今年ですが、新中のエアコン稼働日であった今朝の寒さはなかなかでした。今が一年で最も寒さの厳しい時期となります。ふと気づいた夕方の日の長さや春の確かな足音が感じられます。皆さんが寒さに負けず充実した学校生活を送り、成長を感じられる喜びの春を迎えてくれることを期待しています。

校長 堀 富雄